職 務 経 歴 書

2026年11月1日現在　氏名　見本　太郎

職務要約

2016年に医師免許を取得し、初期臨床研修の後、内科専門研修を修了して2021年に内科専門医の認定を受けました。大学病院と市中病院で、一般内科・消化器内科の外来、病棟、上部・下部消化管内視鏡検査を担当してきました。現在は大学病院の消化器内科で診療と専攻医の指導を担当し、2022年からは週1日、在宅クリニックで訪問診療に従事しています。

職務経歴

2021年4月〜現在　〇〇大学医学部附属病院　消化器内科　医員（2025年4月より助教）・常勤	
外来	消化器内科の再診外来を週2コマ、初診外来を週1コマ担当
病棟	主治医として常時8〜10名を担当。専攻医2名の診療を指導
手技	上部消化管内視鏡 約300件、下部消化管内視鏡 約150件（2025年4月〜2026年3月・いずれも術者。内視鏡の検査記録で数え、10件単位に四捨五入）。内視鏡的止血術とポリープ切除は術者、内視鏡的粘膜下層剥離術は介助
教育	初期研修医・専攻医の指導、週1回の症例検討会の進行
2022年4月〜現在　医療法人◇◇会　◇◇在宅クリニック　非常勤（週1日）	
訪問診療	居宅と施設への定期訪問を1日8〜10件担当。訪問看護ステーション、介護支援専門員と連携し、ご自宅での看取りに対応
2019年4月〜2021年3月　□□市民病院　消化器内科　専攻医・常勤	
外来	一般内科の初診外来を週1コマ、消化器内科の再診外来を週1コマ担当
病棟	主治医として常時10名前後を担当。指導医のもとで入院から退院調整までを担当
手技	上部消化管内視鏡は術者、下部消化管内視鏡は指導医のもとで術者・介助を担当
救急	内科の当直を月4回担当
2018年4月〜2019年3月　〇〇大学医学部附属病院　内科　専攻医・常勤	
病棟	内科の各診療科を回り、担当医として入院診療に従事
2016年4月〜2018年3月　△△総合病院　初期臨床研修医・常勤	
研修	初期臨床研修を修了

免許・資格

医師免許（2016年4月）
日本専門医機構認定 内科専門医（2021年10月）
博士（医学）（2025年3月・〇〇大学）

活かせる経験

一般内科の外来から、消化器内科の入院診療・内視鏡検査、訪問診療までを続けて担当してきました。現在は週1回の症例検討会で、専攻医が診療方針を発表する場を指導しています。

この職務経歴書は見本です。人物・医療機関・年月・件数はすべて架空のものです（Neco Journal）